

## 地域でみんなの居場所を考える

今ある公民館が老朽化してきたため、移転・建替えを視野に地域で検討するワークショップのファシリテーターをしました。

### ☆対象のエリアでは

行政主導で立ち上げた地域研究会という地域の今後を考える団体があります。その研究会で、老朽化している公民館の移転・建替えが課題になっています。

そこに、建築の専門家がその計画を検討するにあたり、住民の声を聞くことになりました。



平日の夜行われるワークショップはよくありますが、なんと！  
ご参加のみなさんにお弁当付き！でした。

### ☆やっぱりワールドカフェ

参加者には、もちろん！女性と子どもは必須です。そして、色々な年代がフラットに話せる場となれば、進め方は「ワールドカフェ」が適しています。

みなさん、模造紙に書き、席を立って移動し、積極的にお話をしてくださいました。

本当に身近な地域のことでもあり、自分のことだけではなく地域のためには、子どもたちのためには、どうするのがいいのかについての話し合いは盛り上りました。

これは、参加してくださる方がワークショップに慣れてきたというよりも、ご自分の意見を発信することに抵抗が少なくなってきたことがあるのかもしれません。時代の流れもあるのでしょうか。

### ☆合意形成がしやすいワールドカフェ

ワールドカフェを自治体のワークショップで積極的に活用してくださっている職員の方がいます。その理由をお聴きしたところ、「合意形成が効率的にできるから」とのことでした。確かに、従来のように、各グループでの話し合いを中心としたワークショップにおいて、最終のまとめの段階で合意形成するのは、少しハードルが高い。その経験から、参加者のみなさんが、納得して合意できる方法としてワールドカフェを活用しています。

ぜひ、ご活用ください。

\*このワークショップでは、同じ高校出身の方がたくさんいらして、ワークショップ前から、お互いに緊張がほぐれた中で進みました。参加者のみなさんと関係性ができてからのワークショップは、和やかで活発な意見がでることも体感できました。